

令和4年度 第2回 立川市スポーツ推進審議会 会議録

(基本情報)

会議名称	令和4年度 第2回 立川市スポーツ推進審議会
開催日時	令和4年12月13日(火曜日) 午後7時00分～午後8時30分
開催場所	立川市泉市民体育館 研修室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員辞任の件 3 報告・協議 <ol style="list-style-type: none"> (1)第2次スポーツ推進計画の進捗状況と評価について (2)「立川市体育施設のあり方」素案について 4 各委員からの報告等 5 その他
資料	資料1 第2次スポーツ推進計画の実施状況 資料2 「体育施設のあり方」素案
出席者	[委員] 秋山 エリカ、坂下 香澄、松原 幸子、水越 伸朗、永島 康雄、原 宏樹、 森川 良行、渡邊 健太、亀島 尚靖 [事務局] 井上(産業文化スポーツ部長)、中村(スポーツ振興課長)、 上野(管理係長)、木村(スポーツ振興係長)、國廣(スポーツ振興係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
担当	産業文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係 電話 042-529-8515

会議の内容(要旨)

1 開会

(会長) これより第2回スポーツ推進審議会を開始する。

2 新委員紹介・辞令伝達

(会長) 事務局より委員についての報告があるのでお願いしたい。

(スポーツ振興課長) 令和4年10月6日付で委員1名より辞任届の提出があった。このことについてお諮りしたい。立川市の条例では委員の任期は2年、補欠委員の任期はその残りの期間となる。来年6月に任期が切れる予定。今から補欠を募集してもあと1回のみ審議会出席であるので、今回は補欠の委員を選任しないということでどうか。

(会長) 説明があったとおり、補欠は補充しないかたちで進めても宜しいか。(異議なし)

3 報告・協議

(1) 第2次スポーツ推進計画の進捗状況と評価について

(スポーツ振興課長より資料1について説明)

- ・「第2次スポーツ推進計画の進捗状況」令和3年度の取組についてご報告。コロナウイルスの影響はまだ続いていて中止の事業もあったが、令和2年度に比べ全体的に事業を実施することができた。
- ・ご意見を頂きたいこととして、①令和3年度の取組について ②令和5、6年度に向けて、体を動かす取組について何かあればご意見を ③スポーツ庁第3期スポーツ基本計画では、スポーツによる健康増進を打ち出している。人生100年時代とも言われている中、スポーツと健康づくりについて何かご意見があれば頂きたい。それ以外に関してもご意見を頂きたい。

(会長) まず①令和3年度の取組について、質問や意見はあるか。令和3年度スポーツの実施率54.40%というのは、徒歩での通勤等、運動の定義を少し広げたからであるか、それとも運動する人が以前より増えている結果か。

(スポーツ振興課長) コロナ禍で体を動かすことの重要性を改めて強く感じた方が多いようだ。外出制限等で閉じこもると、精神的にも気分が上がらない。そこでウォーキング等体を動かすことで心身の健康が保てるという考えが広まってきたことにより、意識的に体を動かす人が増えたと思う。

(委員) 子どものスポーツ推進に関して。錦町は運動会を開催したら、子どもが沢山出てくれた。コロナの影響で以前より時間を短縮し昼までの開催としたので、昼食がないと皆出てくれないと考えていたが、実際にはかなり集まった。また、今回は町会別でリレーをするのではなく当日集まった人でチーム分けをしてリレーを行った。今までは同じ人しか予選を勝ち抜けずメンバーが固定されていたのが、今回は普段出られない子も活躍できた。コロナで色々制限はあるが、時間が短くてもよいかからイベントを行うようにすればいいのではないか。

(会長) ②今後に向けて、体を動かす取組について何か意見があれば伺いたい。

(委員) 子どもの体を動かす取組に関して。小さいころから特殊なスポーツをさせるというより、まずは走るなどの基本的な運動をさせてあげることが重要。12月4日に移動式プレーパークが柏小学校に来た。車からロープを張ってターザンロープにしたり、車から滑り台の板が出てきたりと、子どもたちの良い遊び場となっていた。自分の力で遊具によじのぼるので基礎体力も鍛えられ、遊びを考える中で想像力も磨かれる。健康づくりという面では必要なもので、健康推進課や子育て推進課など庁内とも連携してプレーパークを推奨してほしい。因みに場所は校庭が向いている。

次に、公園の健康遊具について。使い方の講習をしたり、実際に一緒に使うなどの企画を行えば、もっと使われていくのではないか。今後に向けて是非検討して頂きたい。

(スポーツ振興課長) 子供から高齢者まで体を動かす取組は大変重要。是非参考にさせて頂きたい。

(委員) 推進委員の企画で11月にウォーキングイベントを行った。いつもは高齢の方が多いが、今回はもっと若い人や子どもたちにも参加してもらいたいとのことで、小中学校にチラシを配布したり、電子で申込出来るようにした。約180名の参加があり、親子世代の参加も多くみられた。

(スポーツ振興課長) 今回ゴールを多摩動物公園としたのも、集まった要因の一つだと思われる。

今後親子で参加出来るイベントの検討も必要。

(会長) ③人生100年時代と言われる中、健康とスポーツについて。介護予防やスポーツと健康

など、意見を頂戴したい。

(委員) 健康とは心身の健康が大事。精神の健康も非常に鍵となってくる。今ストレスが強くなる時代。スポーツを通して開かれた心が作られる。気持ちを変える場があるということは大事。スポーツは心身の健康を保つ一つの要因となる。

(会長) 体に痛みがある人に激しいスポーツをさせるのは無理だが、例えば膝は痛い手は動く人、呼吸をゆっくりすることでストレスが解消されたりなど、色々方法がある。色々なスポーツを紹介出来るとよい。

障害者のスポーツ推進について。実施率をもう少し上げたい。

(委員) コロナ禍でイベントが中止になることが多い中、家の中などコロナ禍でも出来る運動やスポーツの紹介を市の方で発信するのがいいのではないか。例えばボッチャなど、障害者も出来るスポーツを動画と共に紹介すれば知って実践してみる人も増えるかもしれない。まず知ることが大事。

人生100年時代に関して。以前高松学習館にて70,80代の方を対象にボッチャの講習を行った。ボッチャはチームスポーツでもあるので、スポーツを通じてコミュニケーションを取り交流を深めていた。長い人生において、スポーツをしコミュニケーションを取るの大事だと思う。

(スポーツ振興課長) 情報化社会において、情報をどう届けるかは課題である。スポーツの楽しみを届けるという点でも貴重な意見である。スポーツがコミュニケーションのツールとなる。皆が集まってスポーツを楽しむことが健康につながるの、引き続き提供していきたい。

(会長) 小学生にボッチャを体験させると、皆で作戦を考える。個で遊ぶことが増えてきた世の中で、貴重な経験である。

他に意見はあるか。

(特になし)

次回以降も今後どうしていくべきかについて考えていくかと思うので、是非意見を引き続き頂戴したい。

(2)「体育施設のあり方」素案

(スポーツ振興課長より資料2について説明)

- ・ 審議会、市政アドバイザー、体育協会理事会、競技団体の意見を反映した。その概要は、資料55ページに記載がある。今後この素案に基づきパブリックコメントを募集し、「体育施設のあり方」の原案としたい。
- ・ ご意見を頂きたいこととして、①スポーツ実施率を高める為、普段利用しないような方にも利用してもらう施設にするにはどのようなことが考えられるか。②市内小中学校の活用、民間施設の市民利用について。③その他体育施設の活用についてご意見があれば頂きたい。

(会長) ①スポーツ実施率を高める為、魅力的な施設作りについて。団体での利用は多いが、個人が利用しやすくなる施設や工夫等あるか。

(スポーツ振興課長) 現状に関して。体育館に関しては、個人の方は個人利用という決められた枠で利用頂く。屋外施設について、陸上競技場は個人利用がある。

(委員) 個人利用というとプールのイメージが強い。ただ、体育館でバドミントンをしたい場合、プールと違って1人で気軽に来るのは難しい。相手をしてくれる指導員がいると利用率やスポーツ実施率が上がると思う。

(会長) ②学校の活用や民間施設の市民利用例について。

(委員) アリーナに関しては、土日がイベント利用、平日は教室が多い。立川ダイスがバスケットボールを教える教室や、立川アスレティックFCのフットサル教室やフェアリーダイスのチア教室など。何か市のイベントをアリーナで開いて、市民の皆さんと一緒に協働するのも面白いかもしれない。例えば立川ダイスはホームゲームが多いので、先ほどのウォーキングイベントと絡めて試合を見て頂いた後、実際に歩いたりドームで体を動かしてもらう、など。

(スポーツ振興課長) 立川にはプロスポーツも多いので、見るスポーツも今後は是非普及していきたい。

(委員) 今市のホームページを見てみたが、大きなイベントは出ているが、細かいイベントや施設ごとの情報が探しづらい。

(スポーツ振興課長) スポーツに関しての情報を届けるというのは重要な課題。階層が深く探しづらくなっている。全庁的に取り組むべき課題だと感じている。

1点ご紹介で、最近立川市でも公式LINEを導入した。スポーツなど関心のある分野を選んで頂くとその情報が届く。文章内リンクから対象のホームページに簡単に飛ぶことが出来る。例えば体力アップ体操教室というイベントの募集をLINEで行ったところ、参加者が増えた例もある。

(会長) 写真等入れて是非工夫して発信頂きたい。

③その他体育施設の活用について何か意見はあるか。

(委員) 中学の現場より、素案 p.56 下から3番目の部活動の地域移行について。どのようになるか先が見えない状況。立川市第2次スポーツ推進計画にも掲げているように、子どものスポーツの推進、地域スポーツクラブや団体等への支援やスポーツの推進、学校施設の有効活用があわさることで、この計画も進んでいくと思う。庁内関係部署が連携して進めてほしい。部活動のニーズとしては、幅広いのが課題。本気でやりたい生徒や、適度で良い、など色々な意見があるので難しい。

見るスポーツに関して。大学のバレーボールインカレ予選や高校野球の予選が市内で開催されることもある。知らない人も多いので、広報活動も行えると良い。

(スポーツ振興課長) 部活動の地域移行は課題である。しかし逆に地域スポーツに関して考える機会になるので、是非議論して連携して進めたい。

4 各委員からの報告

(委員) なわとび検定を初めて第7小学校で行った。2,3年生20人集まった。子どもは非常に熱心に参加してくれる。今錦町の体育会でも課題になっているのが、指導者の不足。市に認定されている指導員は70代の1名のみ。

(会長) なわとび検定は全小学校に配っているものなのか。

(スポーツ振興係長) 各地区体育会でなわとび検定をその地区で行う際、スポーツ振興課から貸出ししたり配っている。級に分かれていて、だんだん難しい級に挑戦してもらう仕組み。改定などもあり、各小学校で行っているのはもう少しやさしい内容だと思う。また、学校によっても個人のなわとびより大縄を行ったりと現場ごとに違う。

(会長) 子どもは夢中になってくれるので、知ればもっと取り組んでくれそうだ。

立川ダイスは10月から開幕しているが、どうか。

(委員) 子どもの頃近鉄バファローズのファンで、毎日新聞のスポーツ面で試合の結果を見るのが楽しみだった。現在は立川ダイスの勝敗で、自分の気分も変わるので子どもの頃を思い出した。立川市民にも是非同じような感情をもって頂き、心にハリが生まれると嬉しい。見るスポーツも盛り上げたい。

(委員) プロスポーツ関連で、立川アスレティックFCと子どもが試合をすると聞いている。子どもたちが提案し、1月に試合をする予定。

(会長) 他に意見はあるか。

(特になし)

5 その他

(スポーツ振興課長) 次回令和4年度3回目の日程について、日程は3月15日(水)19時からとしたい。

(会長) 他に意見はあるか。

(特になし)

閉会